



地区協議会 開会本会議

RIテーマ

次年度のRIテーマを挿入



地区目標

- 次年度の地区目標をここに挙げる



効果的なロータリー・クラブ

会員基盤を
維持し、
増加させる

成功を収める
奉仕プロジェ
クトの実施

ロータリー
財団への
支援

クラブ・レベ
ルを超えた
クラブ指導者
の育成

クラブ・リーダーシップ・プラン
奉仕部門



クラブ・リーダーシップ・プラン

- ローターリー・クラブに推奨される管理的枠組み
- 成果を上げているロータリー・クラブのベストプラクティスのコレクション



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。





セッション1: 人前での話し方

クラブ会長エレクト

研修目的

- 人前で話すための基本的な技能を理解する。
- 練習を通じて人前で話すための技能を改善する方法を見定める。



人前で話す際の留意事項

- 要点を説明するために、実例を使う。
- 配分時間内に収める。
- メモは参考として用いるのみにする。
- 聴衆の目を見て話し、まっすぐとした姿勢を保つ。
- ゆっくり、はっきりと話し、声に抑揚をつける。
- リラックスして、自信を持つ。





セッション2: リーダーシップ

クラブ会長エレクト

研修目的

- 指導者の重要な役割は何かを見定める。
- クラブ会長として指導力（リーダーシップの技能）を用いる。





セッション3: 事例研究の演習

クラブ会長エレクト

研修目的

クラブが直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

クラブ幹事

研修目的

- クラブ幹事の役割は何かを知る。
- 幹事としてクラブと協力する方法を見定める。



クラブ幹事の責務

- 会員記録を維持する。
- 出席を記録し、地区ガバナーに月次出席報告書を送付する。
- 諸会合の通知を送付する。
- 議事録を記録する。
- 下記の義務づけられているRIへの報告書を作成する。
- 会費を徴収し、定期購読料を送金する。



会員アクセスページ

- 会員データの更新と閲覧。
- クラブ会費の支払い。
- クラブ・データの更新。
- 新しいクラブ役員情報の報告。
- クラブのロータリー財団寄付報告書の閲覧。



RIクラブ管理ソフトウェア

- 連絡先の管理。
- クラブ情報の管理。
- クラブ役員や委員会委員の割り当て。
- クラブ行事の記録と管理。
- データベースに登録された連絡先にEメールを送付。



報告

- 半期報告書*
- 月次出席報告
- 会員資料報告用紙*
- 来訪ロータリアンの出席報告
- ロータリアン移転書式
- クラブ・データの変更*
- 公式名簿用データ書式*

*会員アクセスページを通じて報告が可能。

スライド#

第XXXX地区協議会



参考資料

- クラブ定款および細則
- 手続要覧
- RIカタログ
- ザ・ロータリアン誌またはロータリー地域雑誌（「ロータリーの友」）
- クラブ幹事要覧





セッション3: 事例研究の演習

クラブ幹事

研修目的

クラブが直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

クラブ会計

研修目的

- クラブ会計の役割は何かを知る。
- 会計としてクラブと協力する方法を見定める。



責務

- すべてのクラブ資金を維持する。
- すべてのクラブの支出と収入の正確な記録を維持する。
- すべてのクラブ財務を慎重に管理する。





セッション3: 事例研究の演習

クラブ会計

研修目的

クラブが直面すると思われる課題とその解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

クラブ管理運営委員会

研修目的

- クラブ管理運営委員会の役割は何かを知る。
- 委員会の委員として適任者を選出する。



役割

クラブの効果的な管理運営に関する活動を実施する。



責務

- 例会および特別会合を組織する。
- 出席の記録と管理。
- クラブ会員間の親睦の促進。
- クラブ週報の作成。
- クラブの効果的な管理運営に関する他の活動の実施。



出席の促進

- 関連性が高く興味深い例会プログラムを作成する。
- クラブ例会を楽しいものにする。
- 規則正しい出席の重要性を強調する。
- 全会員に積極的に参加してもらう。
- 欠席分をメイクアップするよう会員に奨励する。



クラブ週報

- クラブ、その会員、およびロータリーに関するニュースを提供する。
- 今後の会合のプログラムの発表。
- クラブ理事会や委員会会合の概要報告。
- クラブ活動を推進し、会員に関する情報を共有する。



委員会の委員

- 細部への細心の注意
- ローターの方針に関する知識
- 組織化の能力
- 意志伝達および文章力
- デザインまたは出版の経験
- コンピューター技能





セッション2: 目標の策定

クラブ管理運営委員会

研修目的

- 長期および年次目標を策定する。
- これらの目標を支える支援源を確認する。



効果的な目標

- 分かち合えること
- 測定可能であること
- 取り組みがいのあること
- 達成可能であること
- 時間が定められていること



長期目標および年次目標

- 委員会の両方の目標を設定する。
- 今後3年から5年の間に達成したいことを長期目標とすべきである。
- 年次目標は、長期目標を達成するためのステップとなる。
- ロータリー・クラブが進化するにつれ、目標も進化しなければならない。





セッション3: 事例研究の演習

クラブ管理運営委員会

研修目的

委員会が直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

会員増強・退会防止委員会

研修目的

- 会員増強・退会防止委員会の役割を理解する。
- 委員会の委員として適任者を選出する。



役割

会員を探し出すこと、会員の勧誘、退会防止のための包括的計画を立てる。



責務

- 次年度のクラブの会員増強目標を達成する。
- クラブ会員に対し、資質を備えた多様な会員の勧誘および退会防止の重要性についての教育と研修を行う。
- 職業分類の調査を行う。
- 会員増強活動が効果的に行われていることを確認するために、クラブ協議会を開く。



勧誘

- 会員が、ロータリアン候補者を探し出す手助けをする。
- クラブの会員が地域社会の専門職務や事業の多様性を反映するようにする。
- クラブへ新会員を紹介する。
- 職業分類制を理解する。



職業分類

- 会員の職業分類とは、その会員の事業または専門職務である。
- クラブの規模によって、ある特定の職業分類を保有することのできる会員数が制限されている。
- 各クラブ会員が地域社会の事業と専門職務の構成を反映するようにする。



新会員の選出

- 正会員は、クラブ理事会に、推薦された会員の氏名をクラブ幹事を通じて提出する。
- 理事会は、推薦された会員を検討し、幹事にその決定を知らせる。
- 新会員の氏名と職業分類がクラブに報告される。
- 新会員は、入会費を支払い、ロータリアンとなる。



退会防止の方策

- 会員にとって何が重要かを明確にするためのアンケートを活用し、その意見・回答に基づいて対応する。
- 退会する会員にアンケートに答えてもらい、課題を特定する。
- すべてのクラブ・プロジェクトが会員にとって関連性のあるものにするために、それらのプロジェクトの内容を見直す。
- 継続教育のためのセッションを行う。
- 定期的にクラブ協議会を開き、クラブの活動について話し合う。



委員会の委員

- 人材募集、雇用、営業などの職業に就いていた経験
- 地域社会の多様な方面における強固なつながり
- ローターリーについての完全な知識
- 社交性に富み、親近感がもてること





セッション2: 目標の策定

会員増強・退会防止委員会

研修目的

- 長期および年次目標を策定する。
- これらの目標を支える支援源を確認する。



効果的な目標

- 分かち合えること
- 測定可能であること
- 取り組みがいのあること
- 達成可能であること
- 時間が定められていること



長期目標および年次目標

- 委員会の両方の目標を設定する。
- 今後3年から5年の間に達成したいことを長期目標とすべきである。
- 年次目標は、長期目標を達成するためのステップとなる。
- ロータリー・クラブが進化するにつれ、目標も進化しなければならない。





セッション3: 事例研究の演習

会員増強・退会防止委員会

研修目的

委員会が直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

広報委員会

研修目的

- 広報委員会の役割を理解する。
- 委員会の委員として適任者を選出する。



役割

ロータリーについて一般社会に知ってもらい、クラブの奉仕プロジェクトや活動を推進する計画を立てる。



責務

- 次年度における広報の目標を達成する。
- クラブの活動を、クラブ会員、メディア、一般市民に知ってもらおう。
- メディアにとってより魅力的なものとなるよう、プロジェクトや活動を向上させる。
- 会員増強につながるような公共イメージを作り出すよう努める。
- RIから入手できる支援源についてよく把握しておく。



好ましい広報の推進

- RI広報支援源とクラブの推進計画を、www.rotary.orgで常に把握しておく。
- 地元地域社会のメディアの連絡先を一覧表にまとめる。
- クラブのウェブサイトを常に更新し、一般市民にとっても興味深いものにするよう心がける。
- 襟ピンの着用を会員に奨励する。
- クラブのプロジェクトや活動について話すよう会員を促す。



メディアとの協力

- 推進したい話の事実を知っておく。
- スポークスマン(代弁者)を指名する。
- 活動事例(活動概要)を作成する。
- プレス・リリースを作成する。



委員会の委員

- 著名な地域社会のメンバーであること
- 報道機関における職務経験や関係
- 国際ロータリーおよびクラブについての完全な知識
- 優れた話術、文章力、写真撮影技能
- ウェブサイト立ち上げの経験





セッション2: 目標の策定

広報委員会

研修目的

- 長期および年次目標を策定する。
- これらの目標を支える支援源を確認する。



効果的な目標

- 分かち合えること
- 測定可能であること
- 取り組みがいのあること
- 達成可能であること
- 時間が定められていること



長期目標および年次目標

- 委員会の両方の目標を設定する。
- 今後3年から5年の間に達成したいことを長期目標とすべきである。
- 年次目標は、長期目標を達成するためのステップとなる。
- ロータリー・クラブが進化するにつれ、目標も進化しなければならない。





セッション3: 事例研究の演習

広報委員会

研修目的

委員会が直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

奉仕プロジェクト委員会

研修目的

- 奉仕プロジェクト委員会の役割を理解する。
- 委員会の委員として適任者を選出する。



役割

地元および海外の地域に貢献する
奉仕プロジェクトを計画・実施する。



責務

- 地域社会のニーズ査定を実施する。
- ニーズを満たし、支援源を活用できる奉仕プロジェクトを計画する。
- 奉仕プロジェクトを推進する。
- 奉仕プロジェクトを実施する。
- 奉仕プロジェクトを評価する。



奉仕プロジェクトの指針

- 各奉仕部門につき1つのプロジェクトを計画する。
- 真のニーズに取り組む。
- 関連性の深い奉仕プロジェクトを心がける。
- 全クラブ会員を関与させる。
- 他のクラブと協力し、アイデアを交換し合う。
- RIの支援源を活用する。
- 適切な資金管理を行う。



RIおよびロータリー財団の プログラム

- インターアクト
- ローターアクト
- ロータリー地域社会
共同隊(RCC)
- ロータリー友情交換
- ロータリー・ボランティア
- ロータリー青少年交換
- ロータリー青少年指導者
養成プログラム(RYLA)
- 世界社会奉仕(WCS)
- 世界ネットワーク活動
グループ
- 人道的補助金
プログラム
- 教育的プログラム
- ポリオ・プラスおよび
ポリオ・プラス・
パートナー



評価

- プロジェクトは、計画した通りの地域社会のニーズに応えることができたか。
- 全クラブ会員が関与したか。
- 財政面および実地活動への援助のバランスが取れていたか。
- プロジェクトは推進されたか。
- クラブは、プロジェクトに必要な資金を賄うことができたか。



委員会の委員

- 地元地域に関する知識
- 奉仕に関連した職業
- 海外留学または海外旅行の経験
- 地域社会ボランティア経験





セッション2: 目標の策定

奉仕プロジェクト委員会

研修目的

- 長期および年次目標を策定する。
- これらの目標を支える支援源を確認する。



効果的な目標

- 分かち合えること
- 測定可能であること
- 取り組みがいのあること
- 達成可能であること
- 時間が定められていること



長期目標および年次目標

- 委員会の両方の目標を設定する。
- 今後3年から5年の間に達成したいことを長期目標とすべきである。
- 年次目標は、長期目標を達成するためのステップとなる。
- ロータリー・クラブが進化するにつれ、目標も進化しなければならない。





セッション3: 事例研究の演習

奉仕プロジェクト委員会

研修目的

委員会が直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション1: 役割と責務

ロータリー財団委員会

研修目的

- クラブのロータリー財団委員会の役割を理解することができる。
- 委員会の委員として適任者を選出する。



役割

プログラムへの参加と寄付を通じて、ロータリー財団を支援するための計画を立案・実施する。



責務

- クラブの財団目標を達成する。
- 財団に関してクラブ会員を教育し、研修を行う。
- 財団プログラムに参加し、財団を財政的に支援するようクラブ会員に奨励する。
- 地区および財団管理委員会の財団目標をクラブ会員に伝える。



財団プログラム

- 教育的プログラム
 - 国際親善奨学金
 - 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター
 - 大学教員のためのロータリー補助金
 - 研究グループ交換 (GSE)
 - ロータリー平和および紛争解決研究
- 人道的補助金プログラム
 - 地区補助金
 - ボランティア奉仕活動補助金
 - マッチング・グラント
 - 保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金
- ポリオ・プラスおよびポリオ・プラス・パートナー



資金管理

- プロジェクトの監督を確実に実施する。
- すべての財務取引は、実務的に行う。
- 資金が不適切に使用された形跡があれば、直ちに報告する。
- 承認された通りにプロジェクトを実施する。
- プロジェクトのプログラムおよび財務活動に関する完全な報告書を提出する。



毎年あなたも100ドルを

- すべてのロータリアンが、毎年、財団の年次プログラム基金に寄付をするよう奨励する。
- ロータリー財団へ寄付を行ったロータリアンに感謝の意を表す。
- 寄付を行う理由を寄付者に話してもらおう。



委員会の委員

- 国際的な経験
- ボランティア経験
- 奉仕または募金活動に関連した職業





セッション2: 目標の策定

ロータリー財団委員会

研修目的

- 長期および年次目標を策定する。
- これらの目標を支える支援源を確認する。



効果的な目標

- 分かち合えること
- 測定可能であること
- 取り組みがいのあること
- 達成可能であること
- 時間が定められていること



長期目標および年次目標

- 委員会の両方の目標を設定する。
- 今後3年から5年の間に達成したいことを長期目標とすべきである。
- 年次目標は、長期目標を達成するためのステップとなる。
- ロータリー・クラブが進化するにつれ、目標も進化しなければならない。





セッション3: 事例研究の演習

ロータリー財団委員会

研修目的

委員会が直面すると思われる課題と
その解決方法を見定める。





セッション4: 事例研究の演習

クラブ・チーム

研修目的

- 次年度の目標をさらに充実させる。
- 目標を設定する際にクラブが直面する可能性のある課題を特定する。
- それらの課題に取り組むための方策を見定める。





地区協議会 閉会本会議

RIテーマ

次年度のRIテーマを挿入

